

事前評価チェックシート

計画の名称： 土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。(計画名: 人生100年時代のフロンティア県・香川)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年12月26日

計画の名称	土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）													
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	香川県													
計画の目標	土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、土砂災害が発生するおそれのある区域等を明らかにすることで、県民の安心・安全な生活の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,143	A	1,143	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R8当初	中間目標値 R10末	最終目標値 R12末
1	2巡目の基礎調査として、高精度な地形データから抽出した箇所基礎調査を令和12年までに3784箇所行う。 基礎調査実施箇所数	0箇所	1950箇所	3784箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R08	R09	R10	R11	R12				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
その他総合的な治水事業	A08-001	総合治水	一般	香川県	直接	香川県	砂防等	-	香川東部圏域総合流域防災事業	基礎調査	東かがわ市ほか						560	-		
	A08-002	総合治水	一般	香川県	直接	香川県	砂防等	-	土器川圏域総合流域防災事業	基礎調査	丸亀市ほか						210	-		
	A08-003	総合治水	一般	香川県	直接	香川県	砂防等	-	香川西部圏域総合流域防災事業	基礎調査	観音寺市ほか						373	-		
												小計						1,143		
												合計							1,143	

